

小国の分立

※この頃の墓には1 _____ (銅鏡・銅剣・勾玉等)を伴うものもある。=身分差の発生

1. 紀元前1世紀頃の日本

=2 『 _____ 』 _____ (編者:班固)にみる日本 [史料1]

〈A〉「分れて百余国を為す」=小国に3 _____ していた。

〈B〉朝鮮半島にある4 _____ に定期的に使者を送り、貢物を中国に贈っていた。

2. 1~2世紀頃の日本

=5 『 _____ 』 _____ (編者:班曄、(司馬彪))にみる日本 [史料2]

☆この史書には日本の使いが2度中国をたずねたことが描かれている。

〈1回目〉

「^{けんむちゅうげん}建武中元二年 (=西暦6 _____ 年)、倭の7 _____、奉貢朝賀す。…^{こうぶ}光武

賜ふに8 _____ を以てす。」

〈2回目〉

「安帝の永初元年 (=西暦9 _____ 年)、倭の国王^{わいしやう}帥升等、10 _____ 百六十人を献じ、請見を願ふ。桓・靈の間、倭国大いに乱れ、更々相攻伐し、歴年主無し」

Q1. 1回目の使いのときに中国皇帝から与えられたものとみられる印が、江戸時代の農民によって奇跡的に発見された[図表P.39②]。どこで発見された?その印には何と刻まれていた?正確に記そう。

A1. (発見地) 福岡県 _____ (刻まれた文字) _____

邪馬台国連合 (3世紀の日本)

=11 『 _____ 』 _____ (編者:陳寿)にみる日本 ※当時の中国は魏・呉・蜀の三国時代

1. 邪馬台国連合の成立 [史料3]

〈A〉「倭人は12 _____ の東南大海の中にあリ、山島に依りて^{こくゆう}国邑をなす。…其の南

に13 _____ 有リ、男子を王と為す。…女王に属せず。」

まず教科書P19の18~26を(できれば)声を出して読み。弥生の社会のイメージをつくりましょう。1に入る語句もこの部分のどこかにあります。

☆ 弥生時代の日本はまだ文字がありません。しかし、中国ではすでに整った歴史書の編纂が始まっていてそこに日本に関する記述も現れます。このプリントはNo.3の時期について改めて中国史書に描かれた日本の姿をみていくものです。

空欄については、図表に付録の史料を開き、①~③を丁寧にみていけば埋められるはずですが、ただし、空欄埋めて覚えればいいというものではありません。必ず、気合を入れて訳文を、あわせて読みましょう。

普段は授業を受けたあとで復習をすよめ(おろか)今は「確認プリント」で空欄の語句と確認する時が最初の復習のためのもので(おろか)。ただし気合を入れて復習する時には図表P.39①の年表でそのほかの中国史書がいつごろのものか、とリンクもたはかめておきましょう。